

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	RC 部材性能評価小委員会	主 査 名：田才 晃 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：中島正愛 主 査 名：壁谷沢寿海
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・2010 年度：関連文献の収集と分析。部材性能評価(案)作成。 ・2011 年度：RC 計算規準 II・同解説(案)(仮称)の部材性能評価部分編集。 ・2012 年度：応答スペクトルによる耐震性能評価指針の評価規準の原案作成。 ・2013 年度～2014 年度：応答スペクトルによる耐震性能評価指針の解説案作成。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	田才晃(横浜国立大学)、河野進(京都大学)、加藤大介(新潟大学)、市 瀬 敏勝(名古屋工業大学)、和泉信之(千葉大学)、壁谷沢寿海(東京大学)、北山和宏(首都大学東京)、勅使川原正臣(名古屋大学)、塩原等(東京大学)、福山洋(建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	梁柱部材WG：梁および柱部材の性能評価法を具体的に提案する。 壁部材WG：壁部材の性能評価法を具体的に提案する。 柱梁接合部WG：柱梁接合部の性能評価法を具体的に提案する。	
2010 年度予算	293,360 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. WGの活動を通じ、関連文献の収集と分析を行った。 2. 部材性能評価法の原案作成、各部材評価法、モデル化の整合性の検討を継続中。
委員会活動の問題点 ・課題	

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。